★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	５年間（2016年１月21日～2021年１月20日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」（以下「ＡＰエクイティ・ファンド」といいます。）の投資証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ＡＰエクイティ・ファンドの投資証券を通じて、アジア・オセアニアおよび日本のアジア・ワン企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。 ※アジア・ワン企業とは、トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しており、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される企業をいいます。 ②当ファンドは、ＡＰエクイティ・ファンドとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

運用報告書（全体版）
第４期
（決算日　2018年１月22日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド」は、このたび、第４期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
http://www.daiwa-am.co.jp/

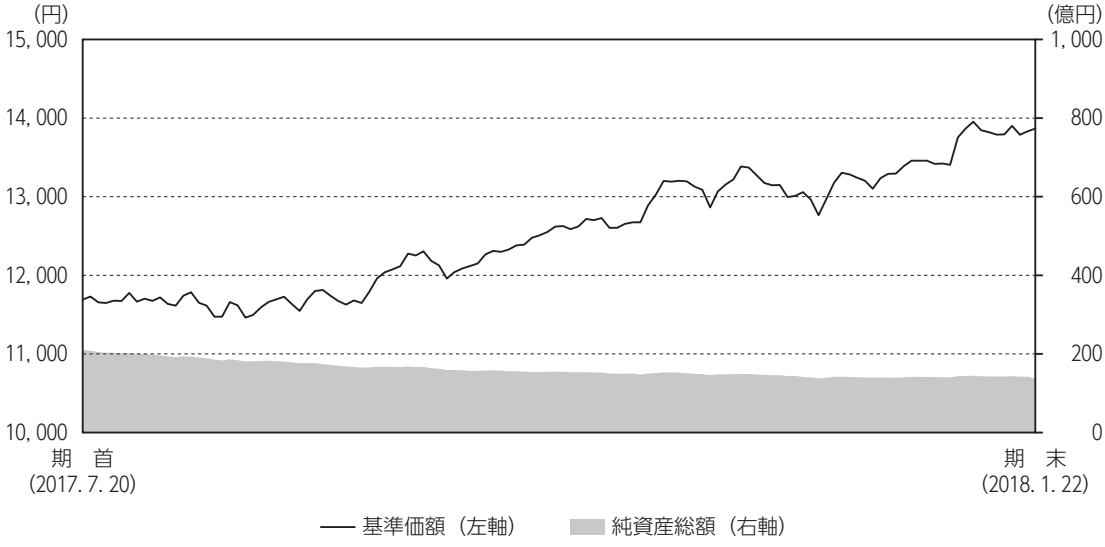
設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ＭＳＣＩ ＡＣ Asia Pacific 指数（配当込み、円換算）		公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1期末（2016年7月20日）	10,120	0	1.2	10,540	5.4	0.0	98.9	27,934
2期末（2017年1月20日）	10,283	150	3.1	12,089	14.7	0.0	99.3	60,196
3期末（2017年7月20日）	11,691	350	17.1	13,566	12.2	0.0	97.6	20,986
4期末（2018年1月22日）	13,317	550	18.6	15,679	15.6	—	98.6	13,654

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）ＭＳＣＩ ＡＣ Asia Pacific 指数（配当込み、円換算）は、ＭＳＣＩ Inc. の承諾を得て、ＭＳＣＩ ＡＣ Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＭＳＣＩ ＡＣ Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩ Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩ Inc. に帰属します。またＭＳＣＩ Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注5）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期　首：11,691円
期　末：13,317円（分配金550円）
騰落率：18.6%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

アジア・オセアニア企業および日本企業の好業績見通しなどから、アジア・オセアニア株式市況や日本株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年　月　日	基準価額		MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、円換算）		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
	円	%		%	%	%
（期首）2017年7月20日	11,691	—	13,566	—	0.0	97.6
7月末	11,664	△ 0.2	13,445	△ 0.9	0.0	97.4
8月末	11,693	0.0	13,534	△ 0.2	—	97.8
9月末	12,087	3.4	13,909	2.5	—	97.2
10月末	12,653	8.2	14,624	7.8	—	98.1
11月末	13,149	12.5	14,819	9.2	—	98.7
12月末	13,423	14.8	15,107	11.4	—	98.8
（期末）2018年1月22日	13,867	18.6	15,679	15.6	—	98.6

（注）基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2017. 7. 21 ～ 2018. 1. 22）

■アジア・オセアニア株式市況

アジア・オセアニア株式市況は、期首より、北朝鮮によるミサイル発射を受けた地政学リスクの高まりが嫌気された局面があったものの、中国での預金準備率の引き下げを受けて好景気の継続期待が高まったことや、韓国および台湾のハイテク企業の好業績見通しを受けて、底堅く推移しました。その後も、米国の税制改革の進展やインドネシアおよびフィリピンの良好なマクロ経済状況が好感され、上げ幅を拡大しました。

■日本株式市況

日本株式市況は、期首より、欧米の中央銀行の金融引き締めペースの見方が交錯し、横ばい圏で推移しました。2017年 8 月に入ると、北朝鮮に関わる地政学リスクが高まったことや、米国の物価統計の弱含みにより米国の2017年内の利上げ観測が後退したこと、対米ドルでの円高が進行したことなどが影響し、株価は軟調に推移しました。 9 月半ば以降は、米国の2017年内の利上げ観測が再び高まり円安米ドル高となったことや北朝鮮問題への懸念が一服したこと、10月に行なわれた衆議院議員選挙で連立与党が勝利したことなどを受け、株価は上昇しました。11月半ばには急激な株価上昇への懸念から調整する場面が見られたものの、その後は、堅調な国内企業業績や、米国税制改革法の議会審議の進展および同法の成立が好感され、株価は上昇しました。

■為替相場

アジア・オセアニア通貨の対円相場は、まちまちの展開となりました。中国の景気見通しの改善などがアジア通貨高（円安）要因でしたが、米国トランプ政権の政策実行能力への懸念が高まったことや、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されたことなどがアジア通貨安（円高）の材料となりました。香港ドルは米ドルペッグ制（米ドルに連動させる為替政策）を採用しているため、米ドルに連動した値動きとなり、対円で小幅に下落しました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）（以下「ＡＰエクイティ・ファンド」といいます。）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。

また、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＡＰエクイティ・ファンド

ミレーアセット社と大和投資信託で連携して運用を行なってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に投資してまいります。個別銘柄では、好調な中国の消費から恩恵を受ける中国の電子商取引関連、保険関連、旅行関連株や、相対的に高い利益成長が見込まれるインドの生活必需品関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行なってまいります。とりわけアジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連企業に注目してまいります。

国内市場全体は、総じて堅調な推移を想定しますが、業種や投資テーマの物色が短期化しており、株価に過熱感がある銘柄を売却する一方で、業績の改善が見込まれる割安株を買い付けるなど、機動的な対応を行なってまいります。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて （2017. 7. 21 ～ 2018. 1. 22）

■当ファンド

当ファンドはＡＰエクイティ・ファンドとダイワ・マネーストック・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合は信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＡＰエクイティ・ファンド

アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、定量・定性分析に基づいてミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定しました。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資しました。国別構成では、中長期的な消費拡大が期待された中国やインドを参考指数と比較してオーバーウエートとしました。個別銘柄では、ALIBABA GROUP HOLDING（中国、情報技術）、TENCENT HOLDINGS（中国、情報技術）などを高位に組み入れました。

・日本株式

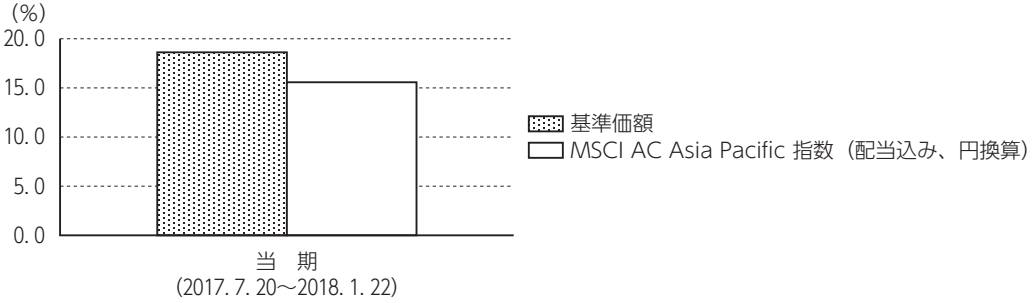
業種構成は、新興国の中長期的な消費拡大に注目し、その恩恵を受ける生活必需品セクターや、アジアを含む世界経済の成長の恩恵を受ける素材セクターなどをオーバーウエートとしました。一方で、国内事業を中心に展開する電気通信サービスセクターなどをアンダーウエートとしました。個別銘柄では、業績見通しや株価指標、アジア展開の潜在力などを総合的に勘案し、ソニー、三菱ＵＦＪフィナンシャルG、ドンキホーテホールディングスなどを高位に組み入れました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。
参考指数はアジア・オセアニアおよび日本の株式市況の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の１万口当り分配金（税込み）は550円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目			当　　期 2017年７月21日 ～2018年１月22日
当期分配金（税込み）		(円)	550
	対基準価額比率	(%)	3.97
	当期の収益	(円)	550
	当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額		(円)	3,317

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,046.70
(c) 収益調整金	400.71
(d) 分配準備積立金	1,420.06
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	3,867.48
(f) 分配金	550.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	3,317.48

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＡＰエクイティ・ファンドとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。
また、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＡＰエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和投資信託で連携して運用を行なってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に投資してまいります。個別銘柄では、好調な中国の消費から恩恵を受ける中国の電子商取引関連、教育関連株や、相対的に高い利益成長が見込まれるインドの生活必需品関連銘柄やリテール向け銀行などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行なってまいります。とりわけアジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連企業に引き続き注目してまいります。

国内株式市場につきましては、国内外の景気や企業業績の堅調さに変化はないこと、日銀の金融緩和政策が良好な株式需給環境を引き続き下支えすると期待されることなどから、上昇基調が継続すると予想します。インフレ率の上昇ペース加速による中央銀行の金融政策の変更や地政学リスクの動向には注意が必要ですが、現状は大幅調整のリスクは小さいと考えています。堅調な相場展開の中で割安感の薄れた銘柄も散見されることから、中期的な業績成長が期待され、相対的に業績の変動が小さい家庭用品関連や日用品関連などの銘柄に注目します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項　　目	当　期 (2017. 7. 21～2018. 1. 22)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	78円	0. 622%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 **期中の平均基準価額は12, 551円です。**
（投 信 会 社）	(24)	(0. 193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(52)	(0. 413)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	79	0. 626	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注３）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注４）比率欄は１万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託証券

（2017年７月21日から2018年１月22日まで）

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	—	—	74,477.832	9,700,000

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託証券

（2017年７月21日から2018年１月22日まで）

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND（ルクセンブルグ）	74,477.832	9,700,000	130

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況
(1)当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

（2017年７月21日から2018年１月22日まで）

決算期	当期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	270	110	40.7	—	—	—
コール・ローン	3,885,997	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中におけ売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (ルクセンブルグ) MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND	90,889.567	13,460,381	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	9,958	9,958	9,988

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年1月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託証券	13,460,381	93.3
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	9,988	0.1
コール・ローン等、その他	956,068	6.6
投資信託財産総額	14,426,438	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年1月22日現在

項目	当期末
(A)資産	**14,526,438,235円**
コール・ローン等	856,068,813
投資信託証券(評価額)	13,460,381,373
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	9,988,050
未収入金	199,999,999
(B)負債	**871,736,153**
未払金	100,000,000
未払収益分配金	563,930,363
未払解約金	107,241,989
未払信託報酬	99,900,839
その他未払費用	662,962
(C)純資産総額(A－B)	**13,654,702,082**
元本	10,253,279,328
次期繰越損益金	3,401,422,754
(D)受益権総口数	**10,253,279,328口**
1万口当り基準価額(C／D)	**13,317円**

＊期首における元本額は17,950,041,985円、当期中における追加設定元本額は1,776,029,259円、同解約元本額は9,472,791,916円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は13,317円です。

■損益の状況

当期 自 2017年7月21日 至 2018年1月22日

項目	当期	
(A)配当等収益	△	**80,319円**
受取利息		30,802
支払利息	△	111,121
(B)有価証券売買損益		**2,199,158,804**
売買益		2,672,806,922
売買損	△	473,648,118
(C)信託報酬等	△	**100,563,801**
(D)当期損益金(A＋B＋C)		**2,098,514,684**
(E)前期繰越損益金		**1,455,979,080**
(F)追加信託差損益金		**410,859,353**
(配当等相当額)	(	290,388,437)
(売買損益相当額)	(	120,470,916)
(G)合計(D＋E＋F)		**3,965,353,117**
(H)収益分配金	△	**563,930,363**
次期繰越損益金(G＋H)		**3,401,422,754**
追加信託差損益金		410,859,353
(配当等相当額)	(	290,388,437)
(売買損益相当額)	(	120,470,916)
分配準備積立金		2,990,646,072
繰越損益金	△	82,671

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は12ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,098,539,694
(c) 収益調整金	410,859,353
(d) 分配準備積立金	1,456,036,741
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	3,965,435,788
(f) 分配金	563,930,363
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	3,401,505,425
(h) 受益権総口数	10,253,279,328口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ	
1　万　口　当　り　分　配　金	550円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、１月22日現在の基準価額（１万口当り13,317円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税５％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド）は、ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。
（注）2018年１月22日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

純資産計算書（2017年３月31日現在）

	（ＵＳＤ）
営業投資有価証券取得原価	405, 313, 957
未実現評価損益	42, 008, 097
営業投資有価証券時価評価額	447, 322, 054
現金	12, 496, 323
未収利息および未収配当金	1, 495, 800
営業投資有価証券売却に係る未収入金	3, 833, 447
資産合計	**465, 147, 624**
解約に係る未払金	7, 153, 392
営業投資有価証券購入に係る未払金	1, 119, 310
未払費用	394, 274
負債合計	**8, 666, 976**
純資産	**456, 480, 648**

Ｂクラス ＵＳＤシェア１口当りの純資産	10. 09
Ｊクラス ＪＰＹシェア１口当りの純資産	109. 05
Ｂクラス ＵＳＤシェアの発行済み口数	365, 604. 041
Ｊクラス ＪＰＹシェアの発行済み口数	464, 357, 763. 55

損益計算書および純資産変動計算書（2017年３月31日に終了した会計期間）

	（ＵＳＤ）
期首純資産	**237, 007, 714**
配当金（源泉徴収税控除後）	4, 042, 879
受取利息	1, 257
収益合計	**4, 044, 136**
管理会社報酬	124, 883
運用会社報酬	2, 290, 885
預託手数料	196, 474
監査および弁護士費用	52, 770
管理および会計費用	115, 643
登記および名義書換事務代行費用	17, 255
引受税	37, 807
出版・印刷費	1, 626
その他の税	556
取引費用	946, 927
その他の費用	37, 771
費用合計	**3, 822, 597**
投資による利益（純額）	**221, 539**
実現利益／（損失）（純額）	
営業投資有価証券売却に係る	4, 043, 015
外国為替先渡契約に係る	(19, 651)
先物取引に係る	388, 769
外国為替に係る	(2, 881, 911)
未実現評価損益の増減額（純額）	
営業投資有価証券に係る	28, 615, 722
運用に係る純資産の期中増減額（純額）	**30, 367, 483**
設定による収入	302, 753, 709
解約に対する支出	(113, 648, 258)
設定・解約による収入（純額）	**189, 105, 451**
期末純資産	**456, 480, 648**

2017年３月31日現在の投資スケジュール（米ドル建て）

数量	内容	時価総額	純資産に占める割合％
取引所上場が認められた有価証券と短期金融商品			
	株式		
581,000	AIA Group Limited	3,663,789	0.80
2,072,700	Airports of Thailand pcl - NVDR	2,367,467	0.52
206,143	Alibaba Group Holding	22,438,665	4.91
14,478	Amorepacific Corp.	3,631,457	0.80
460,942	Apollo Hospitals Enterprise Limited	8,270,825	1.81
203,292	Asian Paints Limited	3,360,803	0.74
9,526,200	Bangkok Dusit Medical Services pcl - NVDR	5,877,105	1.29
2,067,800	Bank Central Asia Tbk Pt	2,568,026	0.56
1,344,000	Brilliance China Automotive Holdings Limited	2,248,542	0.49
157,662	Britannia Industries Limited	8,192,055	1.79
2,393	Celltrion Inc.	192,800	0.04
2,044,000	China Everbright International Limited	2,751,509	0.60
44,277	CSL Limited	4,240,172	0.93
325,287	Ctrip.com International Limited - ADR	16,163,511	3.54
296,700	Daifuku Company Limited	7,362,115	1.61
84,800	Daikin Industries Limited	8,481,133	1.85
79,700	Daiwa House Industry Company Limited	2,277,651	0.50
1,402,000	Denki Kagaku Kogyo KK	7,245,993	1.59
142,800	Dic Corp.	5,247,979	1.15
55,800	Disco Corp.	8,447,208	1.85
68,618	Domino's Pizza Enterprises Limited	3,047,291	0.67
157,700	Don Quijote Company Limited	5,443,034	1.19
39,482	E-Mart Company Limited	7,255,218	1.59
1,288,000	Fuji Electric Holdings Company Limited	7,612,711	1.67
801,000	Galaxy Entertainment Group Limited	4,386,220	0.96
73,676	Godrej Consumer Products Limited	1,896,388	0.42
696,204	Hangzhou Robam Appliances Company Limited	5,018,909	1.10
315,899	Hanon Systems	2,621,415	0.57
145,438	HDFC Bank Limited	3,270,364	0.72
191,947	Hindustan Lever Limited	2,695,118	0.59
191,700	Hitachi Transport System Limited	3,964,786	0.87
1,338,100	IHH Healthcare Bhd	1,814,167	0.40
216,200	Isuzu Motors Limited	2,846,643	0.62
268,702	JD.com Inc. - ADR	8,480,235	1.86
310,929	Jiangsu Hengrui Medicine Company	2,455,229	0.54
65,113,200	Kalbe Farma Tbk Pt	7,524,586	1.65
672,000	Kaneka Corp.	4,975,327	1.09
126,300	Kao Corp.	6,893,502	1.50
22,403	LG Innotek Company Limited	2,734,503	0.60
58,200	M3 Inc.	1,437,891	0.31
5,564	Mando Corp.	1,291,112	0.28
289,600	Mazda Motor Corp.	4,151,013	0.91

数量	内容	時価総額	純資産に占める割合 %
821, 395	Midea Group Company Limited	3, 975, 460	0. 87
3, 197, 700	Minor International pcl - NVDR	3, 419, 818	0. 75
1, 489, 000	Mitsubishi Ufj Financial Group Inc.	9, 315, 980	2. 04
2, 990, 200	Mizuho Financial Group Inc.	5, 454, 469	1. 19
6, 395	Naver Corp.	4, 889, 294	1. 07
58, 780	New Oriental Education & Technology Group - ADR	3, 499, 173	0. 77
114, 600	Nidec Corp.	10, 856, 944	2. 38
60, 700	Nifco Inc.	3, 034, 049	0. 67
1, 047, 700	Nomura Holdings Inc.	6, 481, 900	1. 42
135, 300	Obayashi Corp.	1, 259, 420	0. 28
348, 500	Pigeon Corp.	11, 078, 079	2. 42
1, 665, 500	Ping An Insurance Group Company of China Limited	9, 323, 784	2. 05
259, 600	Pola Orbis Holdings Inc.	6, 237, 268	1. 37
998, 059	Qingdao Haier Company Limited - A	1, 766, 829	0. 39
117, 129	Ramsay Health Care Limited	6, 255, 034	1. 37
219, 000	Sakata Seed Corp.	6, 824, 470	1. 50
2, 639	Samsung Electronics Company Limited	4, 861, 230	1. 07
2, 074, 400	Sands China Limited	9, 610, 662	2. 11
962, 809	Shanghai International Airport - A	4, 195, 299	0. 92
80, 000	Shin-Etsu Chemical Company Limited	6, 898, 731	1. 51
111, 200	Siix Corp.	4, 454, 560	0. 98
334, 500	Sony Corp.	11, 264, 152	2. 47
185, 300	Square Enix Holdings Company Limited	5, 219, 249	1. 14
11, 194, 300	Summarecon Agung Tbk PT	1, 125, 627	0. 25
1, 173, 764	Sydney Airport	6, 071, 831	1. 32
30, 300	Sysmex Corp.	1, 828, 809	0. 40
399, 000	Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited	2, 485, 320	0. 54
41, 039	Tal Education Group - ADR	4, 216, 347	0. 92
23, 057, 700	Telekomunikasi Indonesia Tbk Pt	7, 145, 932	1. 57
738, 100	Tencent Holdings Limited	21, 163, 558	4. 64
238, 200	Tokyo Rope Mfg Company Limited	3, 588, 919	0. 79
1, 185, 000	Toray Industries Inc.	10, 458, 214	2. 28
134, 200	Toto Limited	5, 045, 922	1. 11
93, 600	Toyota Motor Corp.	5, 056, 833	1. 11
1, 494, 600	Unilever Indonesia Tbk Pt	4, 859, 106	1. 06
1, 957, 070	Universal Robina Corp.	6, 377, 220	1. 40
204, 730	Vietnam Dairy Products JSC	1, 290, 864	0. 28
193, 300	W-Scope Corp.	2, 825, 997	0. 62
468, 200	Zojirushi Corp.	6, 761, 234	1. 48
	株式合計	**447, 322, 054**	**97. 99**
	取引所上場が認められた有価証券と短期金融商品の合計	**447, 322, 054**	**97. 99**
	営業投資有価証券時価評価額	**447, 322, 054**	**97. 99**
	現金	12, 496, 323	2. 74
	その他純負債	(3, 337, 729)	(0. 73)
	純資産総額	**456, 480, 648**	**100. 00**

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年１月22日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を17ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2017年７月21日から2018年１月22日まで）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
707 国庫短期証券 2017/12/11	130,001		
355 2年国債 0.1% 2017/8/15	70,003		
682 国庫短期証券 2017/8/14	40,000		
680 国庫短期証券 2017/8/7	30,000		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年１月22日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書　第８期（決算日　2017年12月11日）

（計算期間　2016年12月10日～2017年12月11日）

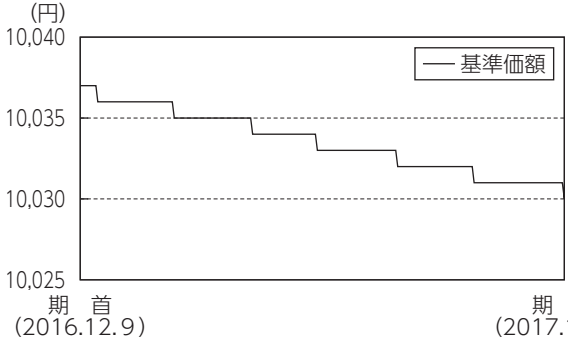
ダイワ・マネーストック・マザーファンドの第８期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10％以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2016年12月9日	10,037	−	29.1
12月末	10,036	△0.0	−
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1
2月末	10,035	△0.0	25.2
3月末	10,035	△0.0	−
4月末	10,034	△0.0	35.6
5月末	10,034	△0.0	6.4
6月末	10,033	△0.0	0.6
7月末	10,033	△0.0	0.1
8月末	10,032	△0.0	−
9月末	10,032	△0.0	−
10月末	10,031	△0.1	−
11月末	10,031	△0.1	−
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	−

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
期首：10,037円　期末：10,030円　騰落率：△0.1%
【基準価額の主な変動要因】
低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について
○国内短期金融市況
期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》
流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	−円
有価証券取引税	−
その他費用	0
(その他)	(0)
合計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公社債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	116,573,085	− (128,940,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公社債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	17,010,400		
657 国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199		
652 国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078		
642 国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144		
659 国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282		
651 国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194		
669 国庫短期証券 2017/6/12	6,970,248		
644 国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300		
638 国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041		
660 国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項目	当期末
(A) 資産	**30,906,278,899円**
コール・ローン等	30,906,278,899
(B) 負債	**799,000,000**
未払解約金	799,000,000
(C) 純資産総額(A－B)	**30,107,278,899**
元本	30,015,878,475
次期繰越損益金	91,400,424
(D) 受益権総口数	**30,015,878,475口**
1万口当り基準価額(C／D)	**10,030円**

＊期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジあり）3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジなし）1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－07　9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－09　9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－11　9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－947,268円、ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド－インドの匠－29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、ＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）102,434円、ＵＳ短期高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）1,994円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－（為替ヘッジあり）39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）－ロボテック（年１回）－（為替ヘッジあり）3,985円、ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数821,890,786円、ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス6,073,206,032円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400インバース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400ダブルインバース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－07　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－07　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2017－06　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2017－06　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－10　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－10　997円、ダイワ・プルベア・セレクト　マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・プルベア・セレクト　ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・プルベア・セレクト　円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－ＳＬトレード－641,089,307円、ダイワ／モルガン・スタンレー新興４カ国不動産関連ファンド－成長の槌音（つちおと）－5,020,480円、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　豪ドル・コース（毎月分配型）4,184,518円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）12,952,078円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　通貨セレクト・コース（毎月分配型）4,981,569円、ダイワＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）997円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）997円、ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα　為替ヘッジあり49,806円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα　為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）　－ロボテック（年１回）－100,588円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）2,088,438円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）1,012,911円、ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　ブラジル・レアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　通貨セレクト・コース2,001,563円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

■損益の状況

当期　自2016年12月10日　至2017年12月11日

項目	当期
(A) 配当等収益	△ **21,002,641円**
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ **4,086**
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ **329,559**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ **21,336,286**
(E) 前期繰越損益金	**155,223,882**
(F) 解約差損益金	△ **99,854,368**
(G) 追加信託差損益金	**57,367,196**
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	**91,400,424**
次期繰越損益金(H)	**91,400,424**

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。